



諏訪清陵SSH便り

諏訪清陵高等学校
3月号 - ⑤
平成25年度第20号
(平成22年度指定)

2年SSHコース生、1年SSH情報が課題探究の結果を発表

☆ 2学年集会で発表！（3月20日（木）14時から）☆

会場：新中学校棟1階大講義室にて 時刻：14時開始（学年集会）

当日は、2学年集会の中で、2年SSHコースの10テーマと1年SSH情報1テーマの発表をさせていただきます。集会には、昨年度本校を卒業したSSHコースOB数名が、発表に対する批評と同時に、新3年生に対しては進路実現に向けて最終学年の1年間をどのように過ごすべきか、また、現在の大学生活等を語ってくれる予定です。

☆ 信州サイエンスミーティングで発表！（3月15日信州大学理学部にて）☆



プレゼンテーションソフトを用いて発表する
振動反応グループ



ポスター発表で質問に答える岩波さん

2学年SSHコースの皆さんが「スーパーサイエンス」課題探究で1年間取組んできた成果を3月15日（土）に信州大学理学部で開催された「信州サイエンスミーティング」で口頭及びポスター発表をしました。

発表は本来2月15日に諏訪文化センターで1学年SSH情報の課題研究発表と同時に行われる予定でしたが、関東甲信越を襲った大雪のため中止されました。そこで、国内での発表はサイエンスミーティングが初めての機会となりました。

当日の口頭発表には、県内理数科8校とSSH指定校3校の生徒180人が参加しました。午後からのポスター発表には、それらの学校の代表ポスター数十本に加えて、本年度学生科学賞県知事賞（本校3年岩波さん）、県議会議長賞そして教育委員長賞を受賞した松商学園と上田西の生徒と信州大学理学部学生が加わり発表しました。本校からは2年SSHコースを代表して牛山君、布施君と吉江君が「振動反応」について口頭とポスター発表を行いました。また、「ミルククラウン形成のしくみ」で本年度学生科学賞県知事賞した3年岩波さんがポスター発表を行い、積極的に質疑応答を行いました。（写真真ん中右）

☆ アラスカ大学国際北極圏研究センターにおいて センター教職員へ英語で口頭発表！ ☆

3月3日から8日4泊6日の日程で2学年SSHコースの生徒が米国アラスカ州フェアバンクスを訪問しました。当地ではオーロラをはじめとする極地観測とともに、代表生徒が英語で1年間取組んだ課題探究「スプライト」を口頭発表しました。

「スプライト」は1989年に発見された高高度で起きる上向きの発光で、アラスカ大学のD.D. Sentman教授がシェークスピアの戯曲「真夏の夜の夢」に登場する妖精スプライト・バックに因んで命名した現象です。生徒諸君はスプライトが石川県沖合の日本海で発生していること、正極性落雷発生時に発生していることを明らかにして発表しました。今回、大学の研究者も駆けつけて助言していただきました。

